

2022年度 第2学年 技術 指導内容・評価規準

担当（堀内 理史）

<2学年の重点指導目標>

- ① 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
 ② 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
 ③ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	学習事項	学習活動	時数	評価規準
4	A. 材料と加工の技術 (1) 問題解決の評価、改善・修正	・材料と加工の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。	1	・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 ・課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
4	C エネルギー変換の技術 ICT (1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 (2) エネルギー変換の技術による問題解決 (3) 社会の発展とエネルギー変換の技術 (4) 電気回路または機構モデルの設計・製作 (5) 問題解決の評価、改善・修正	・エネルギーの変換方法や仕組みについて理解する。 ・安全・適切な製作、実装、点検、調整などができる。 ・問題の発見と課題の設定、電気回路や力学的な機構などの構想と設計の具体化、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念を理解する。 ・技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用について考える。 ・製作品の製作を通して、安全に配慮し、製作、実装、点検・調整を行う。	15	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組み、工夫、特徴について理解し考えている。 ・電気回路の仕組みについて理解している。 ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる。 ・電気機器の安全な使い方について理解している。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。 ・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付け、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
7	B 生物育成の技術 (1) 生活や社会を支える生物育成の技術 (2) 生物育成の技術による問題の解決 (3) 社会の発展と生物育成技術 大根栽培（9月上旬）	・生物育成の基礎的な技術を知る。 ・実際に作物を栽培して育成技術を学ぶ。 ・生物育成過程における課題及び改善・修正について考える。 ・社会の発展と生物育成の技術との関係について考える。 ・安全に配慮し、成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行い、内容を栽培記録表にまとめる。	7	・生物育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 ・課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ・作物の育成環境を調節する技術について理解している。 ・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能および改善及び修正する力を身に付けている。 ・育成環境を工夫して作物を育成することができる技能を身に付けている。 ・作物の成長を管理する技術について理解している。 ・育成する作物に適した環境条件について考え、目的に合わせて栽培計画を立てる力を身に付けている。
2	D 情報の技術 ICT ※ <u>一部B 生物育成に関する技術とD 情報に関する技術を並行して実施</u>	・コンピュータの基本操作に慣れよう ・コンピュータの構成・機能 ・文章処理ソフトウェアを利用し、大根栽培の振り返る	7	・コンピュータの基本操作を行うことができている。 ・コンピュータの構成（5つの機能）ハードウェアソフトウェアについて理解している。 ・適切な文章処理ソフトウェアの編集等ができています。

<補充教材（発展的内容）の取り扱い>

中学生の生活体験に触れることで、興味関心をもたせる。
 後に、個人が興味をもって深めていけるように動機付けをする。
 また、教材をより理解するために補充的な教材を使用する。

<評価の方法>

観点1（知識・技能）	： 実技、定期考査、課題提出の内容
観点2（思考・判断・表現）	： 実技、定期考査、授業への取り組み、課題提出の内容
観点3（主体的に学習に取り組む態度）	： 実技、定期考査、授業へ取り組み、課題提出の内容

<評定算出にあたっての重みづけ>

観点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
重みづけ	1	1	1

